

入試情報の開示

入試の区分	一般選抜 前期日程
入試年度	令和8年度（令和7年度実施）
学部学科等	人文学部・教育学部
教科・科目名	国語／ 現代の国語・言語文化
出題意図	<p>1</p> <p>問1 文を正確に理解する読解力と、理解した内容を適切な言葉を用いて簡潔に説明する表現力を問う。</p> <p>問2 文の展開を正確に把握する読解力を問う。</p> <p>問3 文中の二つのキーワードの内容を的確に把握して対比的にまとめる論理的思考力・表現力を問う。</p> <p>問4 文中の論理関係を理解したうえで、その内容を具体的に説明する論理的思考力・表現力を問う。</p> <p>問5 文に書かれている内容を正確に理解する読解力と、その内容から妥当な結論を導き出す論理的思考力を問う。</p> <p>問6 文脈に応じた適切な語を選択することができる読解力・論理的思考力を問う。</p> <p>2</p> <p>問1 論の構成や文脈を踏まえて大意を捉える能力を問う。</p> <p>問2 物語内容を簡潔に説明する能力を問う。</p> <p>問3 作中人物の考えを捉える能力を問う。</p> <p>問4 文脈に応じた適切な表現を用いる能力を問う。</p> <p>問5 文章全体の要旨を踏まえつつ、複数の本文を関連づけて同一テーマ・共通項を捉える能力を問う。</p> <p>3</p> <p>問1 古文単語・文語に関する基礎的な知識を問う。</p> <p>問2 古典文の全体像を掴む基礎的な読解力を問う。</p> <p>問3 古典文の展開を正確に把握する読解力と、文章表現力を問う。</p> <p>問4 古典文の展開を正確に把握する読解力と、文章表現力を問う。</p> <p>問5 古典文の全体的な趣旨を把握する読解力と、応用的な文章表現力を問う。</p> <p>4</p> <p>文意に合った正確な漢字を表記する、また文意に合った正確な読み仮名</p>

	を付す能力を問う。
解答又は 解答例	<p>1</p> <p>問1 味の良い飲み物と悪い飲み物を飲んだ人の様子を見て、観察者がその飲み物の味の良し悪しを当て、飲んだ人がその正答率を予想するという実験の結果、観察者が正答する割合を、飲んだ人は実際の二倍程度と予想した。この結果から、人は自分の感じていることや考えていることを実際以上に他者に見透かされていると思いつむという結論が得られた。</p> <p>問2 ア</p> <p>問3 「透明性錯覚」とは、自分の心の中が相手に見透かされるように錯覚し、実際よりよく伝わっていると誤解すること。これに対し、「知識の呪縛」は、自らの知識に縛られて、自分の知っていることは相手も知っていることと錯覚し、その知識を持たない人の視点に立つことが難しくなること。</p> <p>問4 絵文字が透明性錯覚の解消に役立つのかを調べてみると、メールの送り手がメールの受け手の実際の正答数よりも高い正答数を予想するということに関しては、受け手の正答数は上がるが、送り手の予想も上がるので、結局は、絵文字を使用しても過信の度合いは変わらないということ。</p> <p>問5 イ、エ、オ</p> <p>問6 C 受け手 D 透明性錯覚</p> <p>2</p> <p>問1 外部が設定した基準に自分を合わせて生きること (22字)</p> <p>問2 キッチンには商品として価値ある統一性が不可欠だが、台所にはそうした便宜的な世界に有用な経済的生産性は必要ないという違い。</p> <p>問3 「僕」は便宜的な社会に自分を合わせて生きており、そうした自分とは対照的に、他者の基準からは自由な象のあり方に惹かれたから。</p> <p>問4 エ</p> <p>問5 経済的生産性ばかりを追求するような、社会や権力に都合の良い画一的なシステムにより、一人一人の人間に固有の多様な価値観が奪われていくことへの危機感。</p> <p>3</p> <p>問1 ① 天に昇れば、仙人の衣を着ることになるだろう。 ② 驚いて見ていたけれども</p> <p>問2 ア、イ、エ</p>

問3 仙人の力を得た主人公の僧が、天に昇ってしまう前に人々の近くで空中を飛び回る様子。

問4 主人公の僧が、自分は仙人の力を得て空を飛んで見せるというので見に来たのに、実際には飛ぶことなどできず谷底に落ちてしまい、愚かな行動をするものだと滑稽に思えたから。

問5 主人公の僧がただ松の葉を食ただけで仙人になったと思ひ込み、飛行に失敗したのは愚かなことであるが、皇帝でさえ時には思慮の足りない振る舞いをしてしまうこともある以上、自分の力を過信してしまう未熟さもやむを得ないものだと評している。

4

① 委 ② 翻弄 ③ 据 ④ 施 ⑤ ひご